2023年3月23日(木)

記録　山下幸子

近江今津のザゼンソウ群生地とそば打ち体験・近江今津散策

Aグループ

日　時：　2023年3月16日木曜日　晴れのち曇り　貸し切りバス

集　合：　7：50　JR島本駅　　8：00阪急水無瀬駅

行　程：　集合駅⇒大山崎IC⇒白髭神社⇒ザゼンソウ群生地⇒今津総合運動公園・体験交流センターゆめの（そば打ち体験・昼食）⇒琵琶湖周航の歌資料館…今津ヴォーリズ資料館…今津教会…旧今津郵便局…西友本店（買い物）⇒道の駅藤樹の里あどかわ⇒水無瀬駅⇒島本駅

参加者：　浅野、伊藤隆資、大石、金高、金戸、河合、川端、杉谷、東川、西井、秦、福嶋昭、福嶋明藤井、万井、杢三、森、山下、倭、山本　（20名）

8：00　天気に恵まれた中、島本駅を出発し水無瀬駅で全員バスに乗車する。

9：15　白髭神社に到着、この白髭神社は森海で何回訪れたことだろう。神社には展望台が出来ており琵琶湖と山並み、街並みを見渡すことができる。紫式部歌碑、与謝野鉄幹・晶子歌碑がある。

9:55　ザゼンソウ群生地に到着、数多くのザゼンソウが咲いている。サトイモ科ザゼンソウ属で色、形、匂い、存在感のある植物だ。葉も繁りそろそろ終わりに近づいている。

観察することができて本当に良かった。

群生地を一周し充分に堪能した。前回「森海」で訪れたのは2017年2月23日と手帳に記録していた。その時は雪が多くてザゼンソウは見ることができなかったと記憶している。

10：50　今津総合運動公園内「体験交流センターゆめの」館内に入りインストラクターの説明の元にグループ分け、4人一組5グループでのそば打ち体験が始まる。粉、水（計量済み）と説明に基づ

きながら 4 人が交代でこね、伸ばし、切る、人がするのは簡単そうに見えるがいざ己がするとなると思うようにはいかない。切ることが一番むずかしい。

12：10～13：00　作ったそばを館内の方にゆでてもらいグループごとに出してもらう。NO16 グループのそばは短く切れてゆで上がっていた。薄く伸ばしすぎた？ゆで方？自信満々だったのに、、、

13：10　琵琶湖周航の歌資料館

作詞者、小口太郎（1897 年～1924 年）は科学者、歌人、第三高等学校のボート部員として琵琶湖周航中、故郷の諏訪湖を思いながら作詞した。

作曲者、吉田千秋（1895 年～1919 年）幼少から体が弱くも科学、外国語、音楽に関心を持った。昆虫、鳥類、魚類を含む動物学。花卉球根の植物学。天体宇宙の天文学等々。18 歳の時イギリスの詩、WATERLILIES の翻訳に自ら曲をつけた「ひつじぐさ」が 20 歳の夏に雑誌「音楽会」に掲載される。その「ひつじぐさ」の曲が琵琶湖周航の詩にぴったりとしていた。

才能にあふれた二人は 26 歳、24 歳と若くして亡くなっている。

13：25　ヴォーリズ通りを散策しヴォーリズ資料館に立ち寄り、今津教会、旧今津郵便局と歩く。

ヴォーリズ設計の建築物はこれまでも近江八幡、神戸でも観察してきた。

１3：55　西友本店で湖漁佃煮の買い物をする。

15：25　道の駅「藤樹の里あどがわ」　トイレ休憩、買い物をする。

16：00　水無瀬駅、島本駅、無事観察会が終了。

福嶋昭治さん丁寧な案内をいつもありがとうございます。写真提供もありがとうございました。